

全日本学生バドミントン大学対抗戦 組み合わせ基準

令和8年1月26日
(一社)全日本学生バドミントン連盟

全日本学生バドミントン大学対抗戦は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規定第5章第28条～32条を適用し、シード決めは次の通りとする。

○出場資格

・32校

本戦：16校：東日本インカレ8校・西日本インカレ8校

推薦：16校：各3校（関東・関西）・各2校（北海道・東北・中部・中四国・九州）

1. 東西インカレの結果を基に、東西毎に1～8位まで大学ランキング表を作成する。

東西インカレの結果で3～4、5～8に入った地区で抽選を行う。同じ区分において同地区の場合、抽選ではなく地区大学ランキング表を優先しあてはめる。

2. 前回本大会の結果を基に、1～16位のシード順（地区枠）を作成する。

・3～4、5～8、9～16に入った東西地区の数でシード順の抽選を行う。抽選結果を基に東西毎の大学ランキング表であてはめる。

(例①) 前回本大会の結果が、

1位 A大学（東日本）

2位 B大学（西日本）

3位 C大学（東日本）

4位 D大学（東日本）

の場合、シードは本年度東西インカレ結果の以下の通りとする。

1位（第一シード）東日本1位

2位（第二シード）西日本1位

3位（第三シード）東日本2位

4位（第四シード）東日本3位

・先に東西どちらかが8校うまった場合は、残りの地区ですべてあてはめる。

(例②) 前回本大会の結果で、片方の地区がベスト16に9校以上入った場合、本戦出場の8校があてはめられた時点で、その後は他方の地区8校をあてはめる。

3. 各地区から推薦により出場している大学のうち、各地区下位9校（関東・関西：各下位2校、北海道・東北・中部・中四国・九州：各下位1校）から抽選により8校を8シード下に順次入れる。

4. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない

★前回大会と同一初回戦は避ける

- ・同一初回戦が8シード下の場合、シードに入った大学を一つ上のシードに入っている大学と入替える。
- ・シード下以外の場合は、同じブロックのシード以外の大学と入替える。

【組合せ会議までの準備】

- 東西インカレの主管学連は、東西インカレ後結果と各地区大学ランキング表を学連共有ドライブに速やかに提出する。
- 組合せ会議時に必要な抽選の準備を行う。

全日本学生バドミントン選手権大会 組み合わせ基準

令和8年1月26日
(一社)全日本学生バドミントン連盟

【男女シングルス・男女ダブルス・混合ダブルス】

○出場資格

- ・前回本大会ベスト8以内（男女ダブルス、混合ダブルスは同ペアのみ）
- ・日本学生ランキング8位以内（東西インカレエントリー時のランキング表）（男女ダブルス、混合ダブルスはそのペアで東西インカレに出場した場合のみ）
- ・96名（ペア）

本戦：東日本インカレ32名・西日本インカレ32名

推薦：東日本16名（北海道3名、東北3名、関東10名）

：西日本16名（中部4名、関西6名、中四国3名、九州3名）

※男女ダブルスは同大学でのペアリングのみ出場可とする。

※混合ダブルスは地区大会は同大学、同地区の他大学、また、東西インカレは東日本は東日本内、西日本は西日本内の他大学とのペアリングで出場可とする。（地区推薦でインカレに出場する資格を得た場合は、男女ダブルス、混合ダブルスはそのペアで東西インカレに出場した場合のみインカレ出場可。ペアが変わった場合は、地区推薦無効）

（例）地区大会Aさん・Bさんのペアリングで優勝（地区推薦対象）

東西インカレAさん・Cさんのペアリングでエントリー（Aさん・Bさんのペアリングでの地区推薦無効。インカレ出場不可）

1. 次の①により、1～32までシードする。

- ①東日本・西日本学生バドミントン選手権大会後にポイント計算された全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキングにより1～32までシードにあてはめていく。同ポイントの場合は抽選によりシードを決める。（32シードで同ポイント抽選の場合は32以降もシードする）

※日本学生ランキングでシードが埋まらない場合は、以降自動抽選とする。

2. 各地区から推薦により出場している選手のうち、各地区の推薦人数の比率を基に、下位から16名（関東6名、関西4名、中部2名、北海道1名、東北1名、中四国1名、九州1名）を選出し、第1シードから第8シードのシード下に入れる。シード下の位置は抽選により決める。同地区の初回戦は避ける。

3. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない。

※ポイントランキング制によるシード以外の選手については、所属バランスとダブルスパートナーの分離については、ソフト上で配慮されている。

★東西インカレにエントリーした種目、ペアのみインカレに出場可

★前回大会と同一初回戦、同校初回戦は避ける

・上記初回戦があった場合は、同じブロックの近くの同地区選手と入替を行う。

【組合せ会議までの準備】

○各地区学連は、地区大会終了後速やかに大会結果を学連共有ドライブに提出する。

○東西インカレ主管学連は、東西インカレ終了後速やかに大会結果を学連共有ドライブに提出する。

○インカレ主管学連は、エントリー締め切り後、アサミ大会運営ソフトに入力されたエントリー名簿と学生ランキング表を作成する。作成後、全日本学連のホームページにアップし、エントリーした大学にエントリー漏れとポイント漏れ、名前間違いがないか確認してもらう。修正がある場合は、各地区学連ごとにまとめ期限までに修正を行う。

○インカレ主管学連は、アサミ大会運営ソフトで作成された日本学生ランキング表を基に32シードまでに抽選が必要か確認を行う。抽選が必要な場合は、組合せ会議時に抽選ができるよう準備を行う。

東日本・西日本学生バドミントン選手権大会 組み合わせ基準

令和8年1月26日

(一社) 全日本学生バドミントン連盟

東日本・西日本学生バドミントン選手権大会は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規定第5章第28条～32条を適用し、シードは団体戦・個人戦それぞれ次の通りとする。

【団体戦の組み合わせ基準】

1. 各地区大学ランキング表16位までを提出してもらう。
2. 前回本大会の結果を基に、1～16位のシード順（地区枠）を作成する。
3～4、5～8、9～16に入った各地区の数でシード順の抽選を行う。抽選結果を基に各地区の大学ランキング表であてはめる。

（例）前回本大会の結果が、

- 1位 A大学（関西）
- 2位 B大学（中部）
- 3位 C大学（関西）
- 4位 D大学（九州）

の場合、シードは本年度各地区大学ランキング表の通りとする。

- 1位（第一シード） 関西1位
- 2位（第二シード） 中部1位
- 3位（第三シード） 関西2位
- 4位（第四シード） 九州1位

2. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない。

★前回大会と同一初回戦は避ける

- ・同一初回戦があった場合は、同ブロック内の多い地区と入替えを行う。

【組合せ会議までの準備】

○各地区学連は、各地区の大学ランキング表を学連共有ドライブに提出する。

★東西インカレ双方とも3位決定戦が実施可能な場合に限り、3位決定戦を行う。

【個人戦の組合せ基準】

1. 次の①によりシードする。

①東西インカレエントリー後の全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキングによりポイント保有者全員をシードにあてはめていく。同ポイントの場合は抽選によりシードを決める。

2. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない。

★エントリー数が320以上の種目では、ベスト32にスーパーシードを適用する。

★男女ダブルスは同大学でのペアリングのみ出場可とする。

★混合ダブルスは同大学、同地区の他大学、また、東日本は東日本内、西日本は西日本内の他大学とのペアリングで出場可とする。

★前回大会と同一初回戦、同校初回戦は避ける

・上記対戦があった場合は、同じブロックの近くの同地区選手と入替を行う。

【組合せ会議までの準備】

○各地区学連は、地区大会終了後速やかに大会結果を学連共有ドライブに提出する。

○東西インカレ主管学連は、エントリー締め切り後、アサミ大会運営ソフトに入力されたエントリー名簿と学生ランキング表を作成する。作成後、全日本学連のホームページにアップし、エントリーした大学にエントリー漏れとポイント漏れ、名前間違いがないか確認してもらう。修正がある場合は、各地区学連ごとにまとめ期限までに修正を行う。

○東西インカレ主管学連は、アサミ大会運営ソフトで作成された日本学生ランキング表を基にポイント保有者においてシード抽選が必要か確認を行う。抽選が必要な場合は、組合せ会議時に抽選ができるよう準備を行う。